

テーマ 家庭・地域とともに進める道徳教育 ～学校・教師に求められる姿勢、役割とは～

道徳教育は、家庭や地域の理解、協力を得ることで、子どもたちの生活のなかでの一貫した教育が可能になり、より大きな成果が期待できます。学校、家庭、地域の連携には、まず学校・教師のリーダーシップの発揮が大切です。そして道徳教育の実践の段階にまで具体化した三者の連携の在り方をどう作っていくのが課題となります。

また、家庭・地域の教育力低下が指摘されているなか、連携を図ることを第一歩として、道徳教育への関心を高めていくことが、教育力再生につながるのではないのでしょうか。そうした意味においても、いま学校・教師の積極的な取り組みが求められています。

道徳教育の進展、また教育力再生の鍵としての「家庭・地域とともに進める道徳教育」について、研究発表、討議を通して、学校・教師がどのように実践をすすめていくのかを皆様とともに考えていきたいと思えます。

- とき** 8月26日(金) 10:00～17:00 (懇親会17:30～19:00)
- ところ** 国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区代々木)
- 参加費** 2,000円 (懇親会3,000円) ※事前に振込用紙を送ります。
- 申込み** 下記申込み票を当財団まで郵送・ファックス・Eメールにてお申し込み下さい。
(先着230名)入場整理券を送ります。

プログラム 研究発表・質疑 10:10～12:10、13:10～14:30 全体討議 14:45～17:00

研究発表者、学校、団体

- 税田 雄二 (福岡県大野城市立大野小学校教諭)
大野城市は大野城市道徳教育推進協議会を設置し市全体で道徳教育に取り組んでいます
- 福島県本宮町立本宮第一中学校
ゲストティーチャーを招いての授業実践を活発に行い、地域との関わりを深めています
- 東京都文京区立中学校PTA連合会
PTAの側から、学校・家庭・地域の連携を活かした教育実践を提案いただきます
- 佐藤 幸司 (山形県山形市立第三小学校教諭)
編著『とっておきの道徳授業Ⅳ』では、「あい」で創る道徳授業を紹介しております
- 渡邊 達生 (八洲学園大学教授)
著書『子どもが哲学する道徳の授業』では新しい視点での授業を紹介しております

コーディネーター 服部 敬一 (大阪教育大学附属天王寺小学校副校長)

指定討論者 安彦 忠彦 (早稲田大学教授、中央教育審議会委員)

〃 東京都公立中学校PTA協議会より代表者1名

財団法人上廣倫理財団『道徳教育シンポジウム』参加申込み票

平成 17 年 月 日

フリガナ		フリガナ	
ご芳名		学校名 (勤務先)	
連絡先	〒 (学校 ・ 自宅) ○で囲む		懇親会 (○で囲む)
tel.()	fax.()	E-Mail	出席 ・ 欠席